

第402回液体クロマトグラフィー研究懇談会

主催 (公社)日本分析化学会・液体クロマトグラフィー(LC)研究懇談会

後援 (公社)日本薬学会(申請中)、(公社)日本化学会、(公社)日本農芸化学会、(公社)日本分析化学会

ポリマーの解析において、液体クロマトグラフィーは不可欠な手法として広く活用されています。本例会では、初心者から経験者まで、ポリマーの分析に興味をお持ちの方々を対象に、液体クロマトグラフィーの基礎から応用までを幅広く解説します。液体クロマトグラフィーの原理や機器の仕組み、さらには実際のポリマー分析の手法について学び、ポリマー分析の知識や技術を深める機会となることを目指します。

期日 2024年12月17日(火) 13.00~17.20

会場 (株)島津製作所本社研修センター(京都)〔京都市中京区西ノ京桑原町1, 交通: ①地下鉄: 京都市営地下鉄烏丸線「京都」駅より国際会館方面に乗車, 「烏丸御池」駅にて下車し, 京都市営地下鉄東西線「太秦天神川」方面に乗り換え, 「西大路御池」駅下車, 4番出口より南へ徒歩3分。②市バス: 京都駅烏丸中央口北側のバス乗り場より「205系統: 西ノ京円町・金閣寺道ゆき」または「26系統: 宇多野・山越ゆき」に乗車, 「西大路三条」で下車後, 三条通りを西へ徒歩3分(北側)。京都駅からの所要時間: 約35分〕

<https://www.shimadzu.co.jp/aboutus/company/access/sanjo.html>

講演主題

ポリマー分析における液体クロマトグラフィーの基礎と応用講演

講演主題概説(オーガナイザー)(13.00~13.05)

(三菱ケミカル(株)) 前中佑太

(LC分析士二段, LC/MS分析士二段)

1. ポリマー分析に多用されるSECの基礎と応用例(13.05~13.35)

(東ソー(株)) 伊藤誠治

(LC分析士五段, LC/MS分析士二段)

2. LC, LCMSを用いたポリマー・オリゴマーの分析事例紹介(13.35~14.05)

(三菱ケミカル(株)) 行政嘉子

(LC分析士初段, LC/MS分析士初段)

3. イオンクロマトグラフィーの基礎と樹脂の劣化生成物の解析への適用(14.05~14.35)

(㈱東レリサーチセンター) 中島沙知

(LC分析士二段, LC/MS分析士二段, IC分析士三段)

4. 高速・高分解GPCの活用(14.35~15.05)

(日本ウォーターズ(株)) 島崎裕紀

(LC分析士三段, LC/MS分析士二段)

休憩(15.05~15.20)

5. ポリマー分析にかかわるLC, LC/MS技術(15.20~15.50)

(アジレント・テクノロジー(株)) 野上知花

(LC分析士初段, LC/MS分析士初段)

6. 液体クロマトグラフィーとMALDI-TOFMSを組み合わせた効率的な合成高分子解析手法の検討(15.50~16.20)

(日本電子(株)) 佐藤貴弥

(LC/MS分析士初段)

7. 高分子分析の新たな解析手法の紹介 LC-Ramanと遠心FFFなど(16.20~16.50)

(㈱島津製作所) 寺田英敏

(LC分析士二段)

8. 総括「ポリマー分析における液体クロマトグラフィーの基礎と応用」(16.50~17.20)

(東京理科大学) 中村 洋

(LCマイスター, LC/MSマイスター)

参加費 ①学生: 1,000円, ②LC懇・個人会員: 2,000円, ③LC懇・団体会員: 3,000円, ④後援学会・個人会員: 4,000円, ⑤後援学会・団体会員: 4,500円, ⑥その他: 5,000円。参加申込締切後の受付はできませんので, ご了承ください。

情報交換会 終了後, 講師を囲んで情報交換会を開催します(会費5,000円)。参加申込締切後のご参加はできませんので, ご了承ください。

申込締切日 12月10日(火)(入金締切時刻: 15時まで)

申込方法

1. 参加希望者は, 下記申込先にアクセスし, 氏名, 勤務先(電話番号), LC研究懇談会・個人会員, 協賛学会・個人会員, その他の別および情報交換会参加の有無を明記のうえ, お申込みください。なお, 参加者名と振込者名が違う場合は, 参加申込書の連絡事項欄に振込者名を明記してください。
2. お申込みが完了した場合には, 登録されたアドレス欄に「第402回液体クロマトグラフィー研究懇談会申込み受付(自動返信)」のメールが届きます。メールが届かない場合は, 世話人までお問い合わせください。
3. 申込み受付のメールを受領後, 必ず期限内に研究懇談会参加費, 情報交換会費の納入を行ってください。期限内に納入が確認できない場合, お申込みを無効とし参加URLを発行しませんので, 十分ご注意ください。当日払いは受け付けません。なお, いったん納入された参加費は, 返金いたしません。
4. 参加費の納入が確認できた方には, 2024年12月10日以降に要旨集をメールにてお送りいたします。必要に応じてプリントアウトしてご参加ください。また, 請求書の発行はいたしておりません。

液体クロマトグラフィー研究懇談会(例会)参加費送金時のご注意

例会参加費, 情報交換会費を送金される場合, 下記を禁止しておりますので, ご理解のほどよろしくお願いいたします。

1. 複数例会の参加費の同時振込(→例会ごとに振り込んでください)
2. 複数参加者の参加費の同時振込(→参加者ごとに振り込んでください)
3. 年会費や他の費用との合算振込(→費目ごとに振り込んでください)

申込先 <https://forms.gle/n2HpX6cceXZL5Sm9A>

(学生申込者は, 所属欄に大学名, 学部, 学年を記載)

銀行送金先 りそな銀行五反田支店(普通)1754341, 口座名義: シヤ)ニホンブンセキカガクカイ〔公益社団法人日本分析化学会・液体クロマトグラフィー研究懇談会〕

問合せ先 (公社)日本分析化学会・液体クロマトグラフィー研究懇談会 世話人 三菱ケミカル(株) 前中佑太
〔E-mail: yuta.maenaka.ma@mcgc.com〕

2024年度徳島地区講演会

～第26回徳島地区分析技術セミナー～

主催 (公社)日本分析化学会中国四国支部
共催 徳島地区分析技術研究会, 徳島化学工学懇話会
地域における分析技術の向上をめざし, 最先端の分析技術の講演と未来を拓く学生の研究発表も行います。

期日 2025年1月10日(金) 14時~17時30分

会場 徳島大学理工学部工業会館2階〔徳島市南常三島町2-1〕

プログラム等

特別講演 (1) 光のピンセットを用いた雲の研究
(広島大院先進理工) 石坂昌司 教授
特別講演 (2) 湿性沈着中の微量元素の濃度比および同位体比から見るエアロゾルの起源
(広島大院理工・自然) 山本祐平 講師
その他, 学生による研究発表を予定しています。
詳細は, 日本分析化学会中国四国支部 HP でご確認ください。

<https://www.jsac.or.jp/~cs-jsac/archive/2024/ev24-tokushima.html>

講演会参加費 無料

情報交換会 講演終了後, 講師を囲んで開催します。

申込期日 2025年1月6日(月)

申込方法 氏名, 所属・住所, 電話番号, 懇親会の出欠を明記して下記の e-mail へ連絡ください。

連絡先 徳島大院理工自然科学・環境分析化学 今井昭二
〔電話: 088-656-7273, E-mail: shoji.imai@tokushima-u.ac.jp〕

第 403 回液体クロマトグラフィー研究懇談会

主催 (公社)日本分析化学会・液体クロマトグラフィー(LC)研究懇談会

後援 (公社)日本薬学会(申請中), (公社)日本化学会, (公社)日本農芸化学会, (公社)日本分析化学会

分析者の作業軽減や分析操作の効率化, 属人性を排除したデータ品質の向上などを目的に HPLC 分析においても, 分析操作の自動化が進んでいます。本例会では, 前処理から分析まで操作の自動化に関する取り組みについて紹介していただきます。

期日 2025年1月24日(金) 13.00~17.00

会場 (株)島津製作所殿町事業所/Shimadzu Tokyo Innovation Plaza〔神奈川県川崎市川崎区殿町 3-25-40, 交通: ①京急大師線「小島新田」駅より徒歩 12 分, ②京浜急行電鉄・東京モノレール「天空橋」駅よりバス/タクシー 10 分, バス: 大 109 大師橋駅前「殿町三丁目」下車, ③JR「川崎」駅よりタクシー約 20 分〕

<https://www.shimadzu.co.jp/aboutus/company/access/tonomachi.html>

講演主題 HPLC 分析の自動化・ラボオートメーション

講演

講演主題概説 (オーガナイザー) (13.00~13.05)
(株)島津製作所 寺田英敏
(LC 分析士二段)

1. 環境分析のための前処理の自動化と注意点
(13.05~13.35)
(ジーエルサイエンス(株) 太田茂徳
(LC 分析士二段)

2. 自動前処理装置を用いた血清中の PFAS の LC-MS/MS 分析 (13.35~14.05)
(バイオタージ・ジャパン(株) 吉田達成
(LC 分析士四段, LC/MS 分析士四段)

3. 分析条件検討・ピーク波形処理設定の自動化
(14.05~14.35)
(株)島津製作所 松田倫太郎
(LC 分析士二段)

4. HPLC を始めとする分析の自動化技術の紹介
(14.35~15.05)
(株)日立ハイテクサイエンス 清水克敏
(LC 分析士二段, LC/MS 分析士初段)

休憩 (15.05~15.20)

5. 医療検査と自動化 (15.20~15.50)
(東ソー(株) 伊藤誠治
(LC 分析士五段, LC/MS 分析士二段)

6. 分析操作の自動化からラボオートメーションまで
(15.50~16.30)

(株)島津製作所 寺田英敏
(LC 分析士二段)

7. 総括「HPLC 分析の自動化・ラボオートメーション」
(16.30~17.00)
(東京理科大学) 中村 洋
(LC マイスター, LC/MS マイスター)

参加費 ①学生: 1,000 円, ② LC 懇・個人会員: 2,000 円, ③ LC 懇・団体会員: 3,000 円, ④後援学会・個人会員: 4,000 円, ⑤後援学会・団体会員: 4,500 円, ⑥その他: 5,000 円。
参加申込締切後の受付はできませんので, ご了承ください。

情報交換会 終了後, 講師を囲んで情報交換会を開催します (会費 5,000 円)。参加申込締切後のご参加はできませんので, ご了承ください。

申込締切日 1月17日(金) (入金締切時刻: 15時まで)

申込方法

1. 参加希望者は, 下記申込先にアクセスし, 氏名, 勤務先 (電話番号), LC 研究懇談会・個人会員, 協賛学会・個人会員, その他の別および情報交換会参加の有無を明記のうえ, お申込みください。なお, 参加者名と振込者名が違う場合は, 参加申込書の連絡事項欄に振込者名を明記してください。

2. お申込みが完了した場合には, 登録されたアドレス欄に「第 403 回液体クロマトグラフィー研究懇談会申込み受付 (自動返信)」のメールが届きます。メールが届かない場合は, 世話人までお問い合わせください。

3. 申込み受付のメールを受領後, 必ず期限内に研究懇談会参加費, 情報交換会費の納入を行ってください。期限内に納入が確認できない場合, お申込みを無効とし参加 URL を発行しませんので, 十分ご注意ください。当日払いは受け付けません。なお, いったん納入された参加費は, 返金いたしません。

4. 参加費の納入が確認できた方には, 2025年1月18日以降に要旨集をメールにてお送りいたします。必要に応じてプリントアウトしてご参加ください。また, 請求書の発行はいたしておりません。

液体クロマトグラフィー研究懇談会 (例会) 参加費送金時のご注意

例会参加費, 情報交換会費を送金される場合, 下記を禁止しておりますので, ご理解のほどよろしくお願いいたします。

- 複数例会の参加費の同時振込 (→例会ごとに振り込んでください)
- 複数参加者の参加費の同時振込 (→参加者ごとに振り込んでください)
- 年会費や他の費用との合算振込 (→費目ごとに振り込んでください)

申込先 <https://forms.gle/jwAS84paknAYMtnU6>
(学生申込者は, 所属欄に大学名, 学部, 学年を記載)

銀行送金先 りそな銀行五反田支店 (普通) 1754341, 口座名義: シヤ) ニホンブンセキカガクカイ [公益社団法人日本分析化学会・液体クロマトグラフィー研究懇談会]

問合先 (公社)日本分析化学会・液体クロマトグラフィー研究懇談会 世話人 (株)島津製作所 寺田英敏
〔E-mail: h-terada@shimadzu.co.jp〕

2025年度液体クロマトグラフィー分析士 五段認証試験

下記要領で実施する予定ですので、お知らせいたします。

日時 2025年3月3日(月)14時~15時30分
会場 日本分析化学会会議室〔東京都品川区西五反田1-26-2
五反田サンハイツ303号室〕

五段資格のイメージ 「分析士を育成・指導できるレベル(師範)。論文の査読・指導、学位論文の審査、国際会議において存在価値が評価される質疑応答ができる。」

分析士五段認証試験 分析士五段試験では書類選考試験(事前提出)、筆記試験(記述式)および面接試験を総合して合格を決定します。書類選考用資料には、①氏名、②生年月日、③現職、④学歴、⑤職歴、⑥LCに関する研究・業務経験、⑦論文発表(適当数)、⑧学位の有無、⑨講習会・講演会における講師等の実績、⑩論文査読の経験、⑪学位論文審査の経験、⑫組織委員・実行委員等の実績、⑬国際会議における座長・依頼講演等の実績、⑭LC分析士四段の登録番号、⑮その他、特記事項、をこの順で記載し、申込締切日までに下記資料送付先にお送りください(お送りいただいた資料は本認証試験以外の目的には使用しません)。筆記試験には、与えられた課題に対してご自身の考えを問う問題が出題され、45分以内に解答していただきます。面接試験は筆記試験後に30分程度行います。

受験料 11,000円(合格者は登録料7,700円を別途申し受けます)。適宜、インボイス制度に対応した適格請求書事業者登録番号入りの領収書を発行します。なお、請求書は発行しません。

受験資格 受験できる方はこれまでに行われたLC分析士四段試験に合格し、登録された方に限ります。

申込方法 受験料の銀行振込後、書類選考用資料を資料送付先にお送りください。

申込締切 2月21日(金)

振込銀行口座 りそな銀行五反田支店 普通預金0802349、口座名義:(公社)日本分析化学会液体クロマトグラフィー研究懇談会。なお、試験が中止された場合は、次の受験料を免除します。

資料送付先・問合先 (公社)日本分析化学会・LC研究懇談会・分析士認証試験係〔E-mail:nakamura@jsac.or.jp〕

2025年度液体クロマトグラフィー分析士 四段認証試験

下記要領で実施する予定ですので、お知らせいたします。

日時 2025年3月31日(月)14時~15時30分
会場 日本分析化学会会議室〔東京都品川区西五反田1-26-2
五反田サンハイツ303号室〕

四段資格のイメージ 「学会発表、投稿を通して、技術的議論が行え、講習会の講師を務まるレベル。また、当該分析・測定技術に関する英語の文献を適切に理解し、博士の学位に相当する学識経験を有する。」

分析士四段認証試験 分析士四段試験では書類選考試験(事前提出)と筆記試験(記述式)とを総合して合格を決定します。書類選考用資料には、①氏名、②生年月日、③現職、④学歴、⑤職歴、⑥LCに関する研究・業務経験、⑦論文発表(適当数)、⑧口頭発表(適当数)、⑨学位の有無、⑩LC分析士三段の登録番号、⑪その他、特記事項、をこの順で記載し、申込締切日までに下記資料送付先にお送りください(お送りいただいた資料は本認証試験以外の目的には使用しません)。筆記試験には、1)英文和訳問題、2)与えられた課題

に対してご自身の考えを問う問題、の2題が出題され90分以内に解答していただきます。

受験料 9,900円(合格者は登録料6,600円を別途申し受けます)。適宜、インボイス制度に対応した適格請求書事業者登録番号入りの領収書を発行します。なお、請求書は発行しません。

受験資格 受験できる方はこれまでに行われたLC分析士三段試験に合格し、登録された方に限ります。

申込方法 受験料を銀行振込後、書類選考用資料を資料送付先にお送りください。

申込締切 3月21日(金)

振込銀行口座 りそな銀行五反田支店普通預金0802349、口座名義:(公社)日本分析化学会液体クロマトグラフィー研究懇談会。なお、一度振込いただいた受験料は返却しません。試験が中止された場合は、次の受験料を免除します。

資料送付先・問合先 日本分析化学会LC研究懇談会・分析士認証試験係〔E-mail:nakamura@jsac.or.jp〕

第92回日本分析化学会有機微量分析研究懇談会 第128回計測自動制御学会力学量計測部会 第42回合同シンポジウム

主催 (公社)日本分析化学会有機微量分析研究懇談会

共催 (公社)計測自動制御学会力学量計測部会

協賛 (公社)日本分析化学会、(公社)日本化学会、(公社)日本薬学会

期日 2025年6月19日(木)・20日(金)

会場 北里大学薬学部〔東京都港区白金5-9-1〕

内容 特別講演・一般講演(口頭発表、ポスター発表)

発表申込締切 2025年2月7日(金)必着

発表申込方法 ①講演形式(口頭・ポスター発表)、②申込区分(一般or若手(30歳以下))、③申込者氏名、④会員番号(有機微量分析研究懇談会会員の場合)、⑤郵便番号・連絡先住所(所在地)、⑥電話番号、⑦メールアドレス、⑧所属機関(和文名および英文名)、⑨講演題目(和文題目および英文題目)、⑩発表者氏名(講演者の前に○印)、⑪発表者英文氏名、⑫講演の概要(和文100字程度)を、E-mail(件名:合同シンポジウム講演申込)にて下記の申込先宛にお送りください。

講演要旨原稿締切 2025年4月14日(月)必着

事前参加登録締切 2025年5月16日(金)必着

参加登録費 ①主催・共催および協賛学会会員:4,000円(5月16日(金)まで、5,000円(5月17日(土))以降、②非会員:6,000円、③学生:2,000円

申込・問合先 〒108-8684 東京都港区白金5-9-1 北里大学薬学部 長井賢一郎〔電話:03-5791-6261、E-mail:orgmicro-sympo@jsac.jp〕

詳細は、日本分析化学会有機微量分析研究懇談会のHP(<https://www.jsac.or.jp/~orgmicro/sympo2025/>)にも掲載予定です。

—以下の各件は本会が共催・協賛・
後援等をする行事です—

◎詳細は主催者のホームページ等でご確認ください。

第11回分散凝集科学技術講座 分散・凝集のすべて

—希薄系から濃厚系までのあらゆる
分散・凝集現象に関わる研究者・技術者のための
最新理論とテクニック—

主催 (公社)日本化学会コロイドおよび界面化学部会
期日 2024年12月12日(木)・13日(金)
会場 オンライン (Zoom Webinar)
ホームページ
<https://colloid.csj.jp/202408/2024pt/>
連絡先 (公社)日本化学会コロイドおよび界面化学部会事務局
[E-mail: jigyokukaku_03@colloid.csj.jp]

東海支部 2024年度アドバンスセミナー 『機能性ソフトマテリアルの開発と研究動向』

主催 (一社)日本ゴム協会東海支部
期日 2025年1月28日(火)
会場 Web講演会としてオンライン開催 (Zoomを利用)
ホームページ
<https://www.srij.or.jp/newsite/branch/tokai/>
連絡先 〒466-0858 愛知県名古屋市昭和区折戸町4-1 (一社)日本ゴム協会東海支部 [電話: 052-880-7389, E-mail: srij-tokai@sf.commufa.jp]

24-2 高分子学会講演会

主題=量子ビームを用いた先端計測と
高分子材料開発への展開

主催 (公社)高分子学会行事委員会
期日 2025年2月18日(火)
会場 オンライン開催
ホームページ <https://member.spsj.or.jp/event/>
連絡先 〒104-0042 東京都中央区入船3-10-9 新富町ビル (公社)高分子学会 24-2 高分子学会講演会係
[電話: 03-5540-3771]

第41回希土類討論会

主催 日本希土類学会
期日 2025年5月22日(木)・23日(金)
会場 倉敷市民会館
ホームページ
<https://www.kidorui.org/discussion.html>
連絡先 〒565-0871 大阪府吹田市山田丘2-1 大阪大学大学院工学研究科応用化学専攻内 日本希土類学会 事務局 田村真治 [電話: 06-6879-7352, E-mail: office@kidorui.org]

The 7th Asia-Pacific Symposium on Radiochemistry

主催 (一社)日本放射化学会
期日 2025年9月14日(日)~19日(金)
会場 島根県立産業交流会館くにびきメッセ
ホームページ
<http://www.radiochem.org/apsorc2022/index-j.html>
連絡先 〒590-0494 大阪府泉南郡熊取町朝代西2丁目 京都大学複合原子力科学研究所気付 APSORC25 組織委員会事務局 五十嵐康人 [E-mail: sasaki.takayuki.2a@kyoto-u.ac.jp]

「分析化学」特集 “拡がる！分析化学と溶液化学の境界” の論文募集

「分析化学」編集委員会

「分析化学」編集委員会は、溶液反応化学研究懇談会と共同で「拡がる！分析化学と溶液化学の境界」特集を企画しました。溶液化学の研究は、電気化学や錯体化学はもちろんのこと、クラスターや化学反応を解明する分子科学やイオン液体や超臨界流体などの応用が期待されている工学的分野など、多くの分野と密接に関係しています。本特集号では、更なる拡がりを見せている溶液化学と分析化学の境界領域における最新の研究に関する論文の投稿をお待ちしています。詳細はホームページをご確認ください。

特集論文申込締切: 2025年2月21日(金)
特集論文原稿締切: 2025年4月18日(金)

初めて書く論文は母語の日本語で！ “第24回初執筆論文特集”募集のお知らせ

「分析化学」編集委員会

「分析化学」編集委員会は、2025年(第74巻)に企画しております第24回「若手研究者の初論文特集」の特集名称を変更し、第24回「初執筆論文特集」として原稿を募集いたします。卒研究生、修士・博士課程院生並びに若手研究者の方々にとって、ご自分の研究成果を日本語で投稿できるよい機会です。年間を通して論文原稿を受け付け、審査を経て掲載可になり次第随時掲載いたしますので、奮ってご投稿ください。なお、詳細は「分析化学」誌HPをご参照ください。

「分析化学」年間特集“環”論文募集

「分析化学」編集委員会

2025年は「環」をテーマとすることと致しました。本特集では「環」をキーワードとして、基礎・応用を含めた分析化学の“最新の知見”はもちろん、総合論文や分析化学総説といった形で現在の分析化学の“研究の背景”についても広く募集し、分析化学が担う役割を社会に向けて発信することを目的としています。国内外、産学官を問わず、「環」にかかわる分析化学の研究・開発に従事されている多くの皆様方からの投稿をお待ちしておりますので、是非この機会をご活用ください。なお、詳細は「分析化学」誌の12号及びホームページをご参照ください。

特集論文原稿締切: 2025年4月25日(金) (第3期)